

## 飛鳥資料館 冬期企画展「飛鳥の考古学2020」

今回の展覧会では、飛鳥藤原地域の2019年度の発掘調査や遺物調査研究の最新の成果を紹介します。

飛鳥京跡苑池では、北側の池の北東部分が調査され、流水施設や階段状遺構など、水辺の祭祀遺構が新たにみつかりました。飛鳥寺の西側は、日本書紀に「飛鳥寺西槻下」として登場する広場にあたりと考えられ、その推定地の飛鳥寺西方遺跡で2008年度からの10年間の発掘調査成果をまとめた報告書が刊行されました。藤原宮の大極殿院では大極殿の北で新たな回廊を発見しました。これにより大極殿院の構造に関する研究が新たな段階に入るとともに、造営過程についての研究も進んでいます。藤原宮の西2km付近に広がる藤原京右京五条周辺および四条遺跡・慈明寺遺跡では、藤原京期の宅地や建物跡、推定西八坊大路、さらに古墳や弥生時代の遺構などがみつかりました。

この冬は、発掘調査と最新研究があきらかにした飛鳥の新発見をぜひお楽しみください。

(飛鳥資料館 清野 陽一)

会 期：2021年1月22日(金)～3月14日(日) (ただし2月7日(日)は無料入館日)

開館時間：9：00～16：30(入館は16：00まで)／休館日：月曜日(月曜が休日の場合は翌平日)

ホームページ：<https://www.nabunken.go.jp/asuka/> お問合せ：☎0744-54-3561



飛鳥寺の西門地区の調査で出土した土管

編集 「奈文研ニュース」編集委員会  
発行 奈良文化財研究所 <https://www.nabunken.go.jp>  
Eメール [koho\\_nabunken@nich.go.jp](mailto:koho_nabunken@nich.go.jp)  
発行年月 2020年12月